

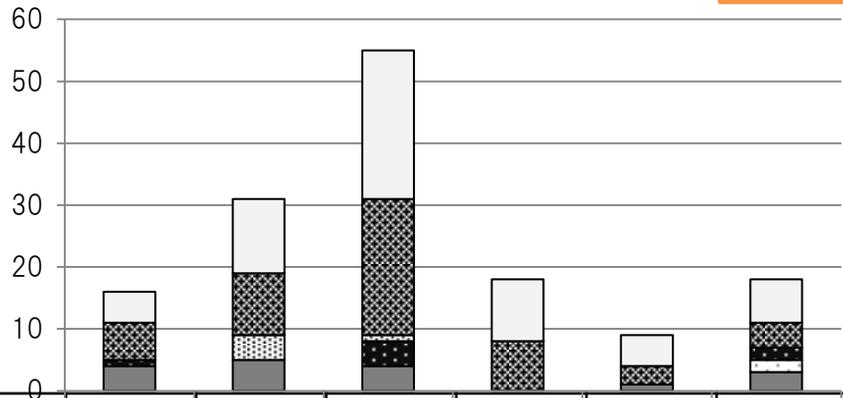
## 東京都胎児救急搬送システムによる搬送事例の状況

平成25年11月1日から平成30年10月31日報告受理分 147件

## 1 要請理由

○ 常位胎盤早期剥離、早産期の胎児機能不全を要請理由としたものが、約8割であった。

n=147 (母体)



	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
合計	16	31	55	18	9	18	147
□常位胎盤早期剥離	5	12	24	10	5	7	63
■早産期の胎児機能不全	6	10	22	8	3	4	53
□常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		4	1				5
■正産期の胎児機能不全	1		4			2	7
□その他						2	2
■無記入	4	5	4		1	3	17

## 2 要請理由別搬送元施設と受入先施設

- 全体では総合周産期母子医療センターが109件（74.1%）、地域周産期母子医療センターが30件（20.4%）、周産期連携病院が8件（5.4%）だった。
- 搬送依頼元は診療所が71件（48.3%）、病院が53件（36.1%）だった。
- ブロック内の総合周産期母子医療センターでの受け入れは、全体で89件（60.5%）だった。

n=147（母体）

要請理由	依頼元施設 受入先施設	総計	総合周産期母子医療センター	地域周産期母子医療センター	周産期連携病院	病院	診療所	助産所
常位胎盤早期剥離	総計	63	2	0	3	19	39	0
	総合周産期母子医療センター	43	1		3	16	23	
	地域周産期母子医療センター	17	1			3	13	
	周産期連携病院	3					3	
早産期の胎児機能不全	総計	53	6	5	4	22	16	0
	総合周産期母子医療センター	41	5	4	4	16	12	
	地域周産期母子医療センター	10	1	1		5	3	
	周産期連携病院	2				1	1	
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全	総計	5	0	0	0	2	3	0
	総合周産期母子医療センター	5				2	3	
	地域周産期母子医療センター	0						
	周産期連携病院	0						
正期産の胎児機能不全	総計	8	0	0	0	1	6	1
	総合周産期母子医療センター	5				1	3	1
	地域周産期母子医療センター	2					2	
	周産期連携病院	1					1	
その他(1)・無記入	総計	18	0	0	1	9	7	1
	総合周産期母子医療センター	15				8	6	1
	地域周産期母子医療センター	1			1			
	周産期連携病院	2				1	1	
合計	総計	147	8	5	8	53	71	2
	総合周産期母子医療センター	109	6	4	7	43	47	2
	地域周産期母子医療センター	30	2	1	1	8	18	
	周産期連携病院	8				2	6	

### ○ 要請理由別 受入先施設

要請理由	受入施設		総合周産期母子医療センター		地域周産期母子医療センター		周産期連携病院		合計	
	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外
常位胎盤早期剥離	37	6	14	3	3				54	9
早産期の胎児機能不全	30	11	7	3	1	1			38	15
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	4	1							4	1
正期産の胎児機能不全	3	2	1	1	1				5	3
その他(1)・無記入	15			1	2				17	1
合計	89	20	22	8	7	1			118	29

3 要請理由別搬送元地域（ブロック）と受入先地域（ブロック）

- 全体では80.3%がブロック内の医療機関で受け入れられていた。  
 早産期の胎児機能不全では、28.3%がブロック外での受入だった。

n=147（母体）

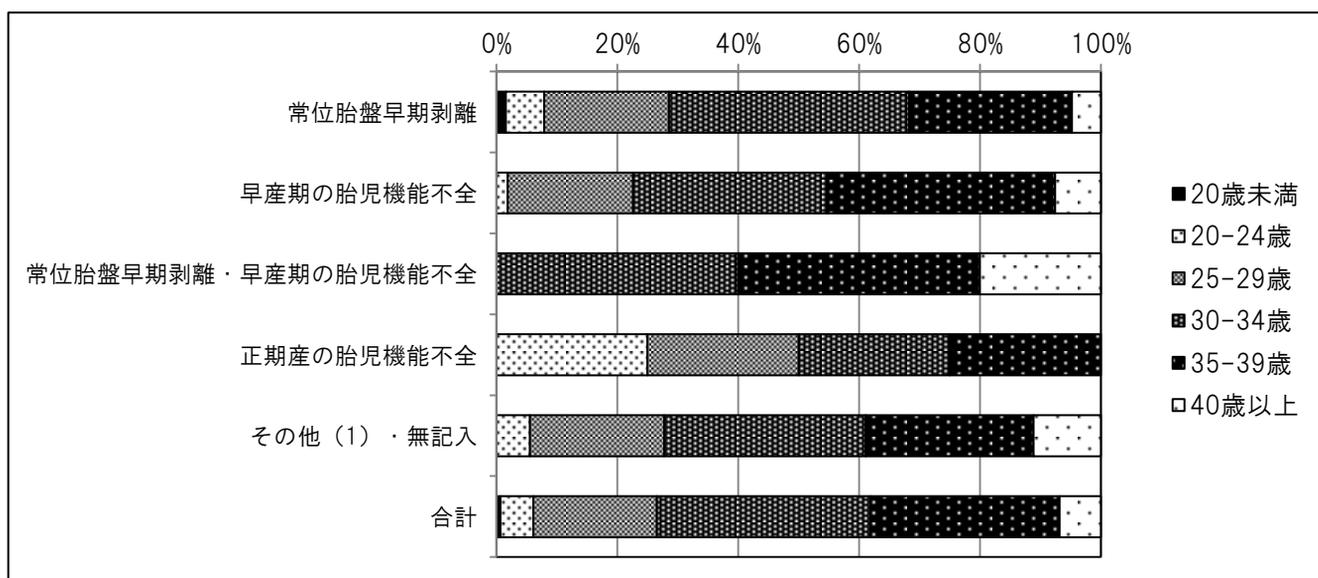
要請理由	依頼元地域		総計	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	多摩地域
	受入先地域										
常位胎盤早期剥離	総計		63	3	2	16	3	4	17	14	4
	区中央部		8	3	1			1	2	1	
	区南部		0								
	区西南部		16		1	15					
	区西部		4			1	3				
	区西北部		3					3			
	区東北部		13						13		
	区東部		15						2	13	
	多摩地域		4								4
早産期の胎児機能不全	総計		53	2	1	13	3	4	7	7	16
	区中央部		3	2		1					
	区南部		4		1	2					1
	区西南部		14			10	1	1			2
	区西部		2				1				1
	区西北部		3					2	1		
	区東北部		4					1	3		
	区東部		10						3	7	
	多摩地域		13				1				12
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全	総計		5			1	1	1	1	1	
	区中央部										
	区南部										
	区西南部		1			1					
	区西部		1				1				
	区西北部										
	区東北部		2					1	1		
	区東部		1							1	
多摩地域											
その他	総計		26	2	1	3	1	5	2	2	10
	区中央部		0								
	区南部		1		1						
	区西南部		4	1		3					
	区西部		2				1				1
	区西北部		6	1				5			
	区東北部		3						2	1	
	区東部		1							1	
多摩地域		9								9	
合計	総計		147	7	4	33	8	14	27	24	30
	区中央部		11	5	1	1		1	2	1	
	区南部		5		2	2					1
	区西南部		35	1	1	29	1	1			2
	区西部		9			1	6				2
	区西北部		12	1				10	1		
	区東北部		22					2	19	1	
	区東部		27						5	22	
多摩地域		26				1				25	

#### 4 母の年齢

- 全体では35歳未満が91人（61.9%）と多く、35歳以上は56人（38.1%）  
 常位胎盤早期剥離は35歳未満が43人（68.3%）、35歳以上は20人（31.7%）  
 早産期の胎児機能不全では35歳未満が29人（50.9%）、35歳以上は24人（45.3%）だった。

n=147（母体）

要請理由	母体年齢						合計
	20歳未満	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上	
常位胎盤早期剥離	1	4	13	25	17	3	63
早産期の胎児機能不全		1	11	17	20	4	53
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全				2	2	1	5
正期産の胎児機能不全		2	2	2	2		8
その他（1）・無記入		1	4	6	5	2	18
合計	1	8	30	52	46	10	147



- 要請理由別 母の年齢の最小値・最大値・平均値・中央値

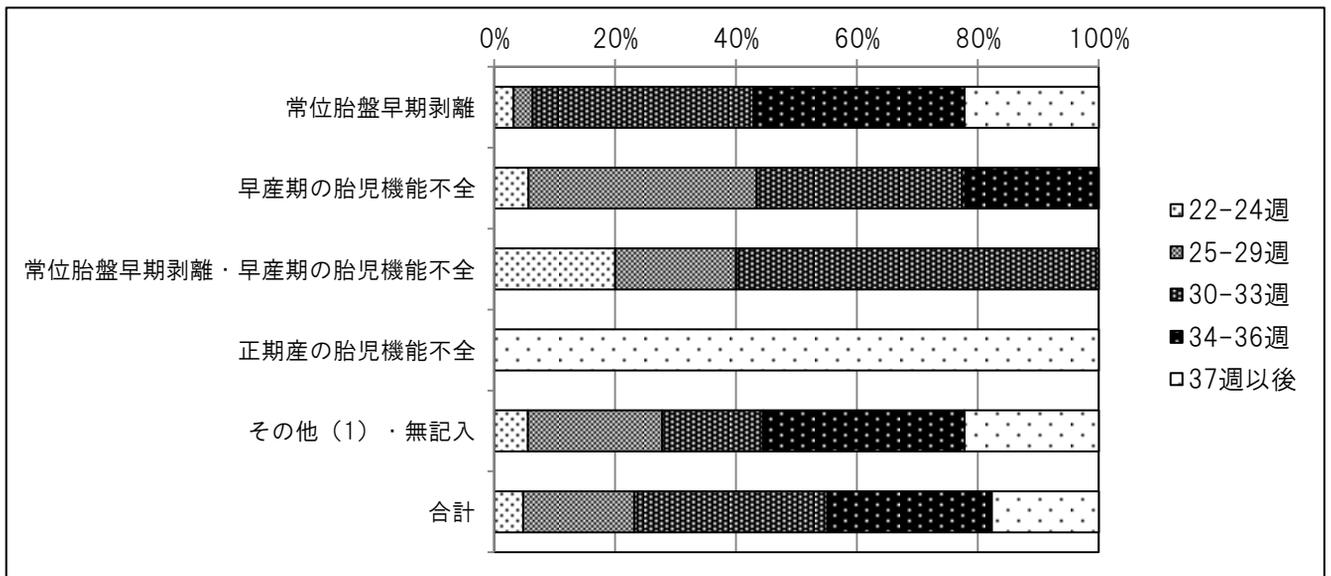
要請理由	母体年齢	最小値	最大値	平均値	中央値
常位胎盤早期剥離		19	43	31.87	32
早産期の胎児機能不全		20	42	33.19	34
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		31	40	35.80	36
その他・無記入		22	42	32.08	33
合計		19	43	32.52	33

## 5 妊娠週数

- 全体では30-33週が47人（32.0%）と最も多く、37週未満が121人（82.3%）  
 常位胎盤早期剥離は30-33週が23人（36.5%）、37週未満は49人（77.8%）  
 早産期の胎児機能不全では25-29週が20人（37.7%）、34週未満が41人（77.4%）だった。

n=147（母体）

要請理由	妊娠週数	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	37週以後	合計
常位胎盤早期剥離		2	2	23	22	14	63
早産期の胎児機能不全		3	20	18	12		53
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	1	3			5
正期産の胎児機能不全						8	8
その他（1）・無記入		1	4	3	6	4	18
合計		7	27	47	40	26	147



- 要請理由別 妊娠週数の最小値・最大値・平均値・中央値

要請理由	妊娠週数	最小値	最大値	平均値	中央値
常位胎盤早期剥離		23	40	33.59	34
早産期の胎児機能不全		22	36	29.79	29
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		24	32	28.40	29
その他・無記入		23	42	34.73	35
合計		22	42	32.24	33

○ 要請理由別 母の年齢と妊娠週数

① 母体年齢と妊娠週数						
	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	37週以後	合計
20歳未満			1			1
20-24歳		2	1	2	3	8
25-29歳	1	6	5	12	6	30
30-34歳	1	10	15	15	11	52
35-39歳	4	7	19	10	6	46
40歳以上	1	2	6	1		10
合計	7	27	47	40	26	147

② 要請理由が常位胎盤早期剥離の母体年齢と妊娠週数						
	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	37週以後	合計
20歳未満			1			1
20-24歳		1	1	1	1	4
25-29歳			3	7	3	13
30-34歳			8	9	8	25
35-39歳	1	1	8	5	2	17
40歳以上	1		2			3
合計	2	2	23	22	14	63

③ 要請理由が早産期の胎児機能不全の母体年齢と妊娠週数					
	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	合計
20歳未満					0
20-24歳		1			1
25-29歳	1	6	1	3	11
30-34歳	1	7	5	4	17
35-39歳	1	5	9	5	20
40歳以上		1	3		4
合計	3	20	18	12	53

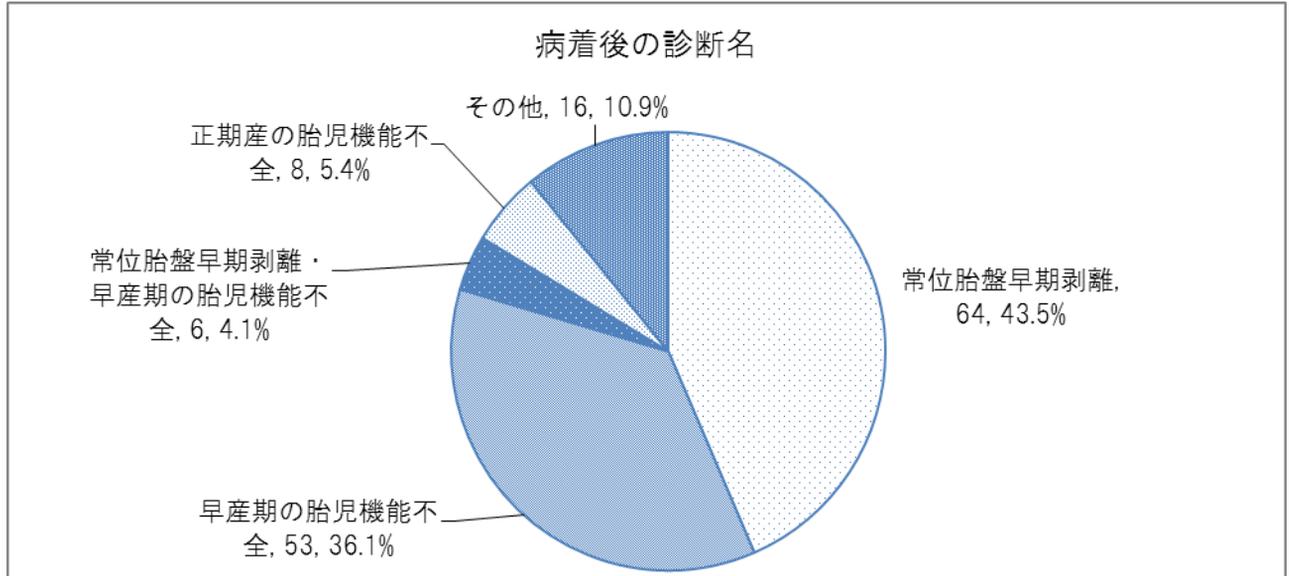
④ 要請理由が常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全の母体年齢と妊娠週数					
	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	合計
20歳未満					0
20-24歳					0
25-29歳					0
30-34歳		1	1		2
35-39歳	1		1		2
40歳以上			1		1
合計	1	1	3	0	5

⑤ 要請理由がその他（正期産の胎児機能不全・切迫早産等、無記入）の母体年齢と妊娠週数						
	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	37週以後	合計
20歳未満						0
20-24歳				1	2	3
25-29歳			1	2	3	6
30-34歳		2	1	2	3	8
35-39歳	1	1	1		4	7
40歳以上		1		1		2
合計	1	4	3	6	12	26

## 6 病着後の診断名

- 搬送受入れ後の診断名は常位胎盤早期剥離が64件（43.5%）、早産期の胎児機能不全が53件（36.1%）であった。
- その他は16件（10.9%）で、子宮内胎児死亡、一過性胎児除脈、胎動減少、足位の陣発（早産期）・排臨、切迫早産、前期破水・臍帯下垂（骨盤位）などであった。

n=147（母体）



## ○ 要請理由別 病着後の診断名

要請理由	常位胎盤早期剥離	早産期の胎児機能不全	常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	正期産の胎児機能不全	その他	データ数
常位胎盤早期剥離	56	1	2		4	63
早産期の胎児機能不全	1	46	1		5	53
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1		3		1	5
正期産の胎児機能不全				8		8
その他(1)・無記入	6	6			6	18
合計	64	53	6	8	16	147

## 7 病着まで（要請から病着まで）

- 搬送要請時刻と病着時刻が分かっているのは121件であった。
- 121件の病着までの時間の平均は約56分、中央値は約52分であった。
- 121件の病着までの時間の最小値は8分、最大値は3時間48分であった。

## ○ 要請理由別 要請から病着までの時間

要請理由	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	不明	データ数
常位胎盤早期剥離	11	23	13	5	1	10	63
早産期の胎児機能不全	2	19	13	3	2	14	53
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1	3	1				5
正期産の胎児機能不全	1	6	1				8
その他(1)・無記入	1	7	5	2	1	2	18
合計	16	58	33	10	4	26	147

○ 要請理由別 要請から病着までの時間の最小値・最大値・平均値・中央値

要請時の疾患名	病着までの時間	最小値	最大値	平均値	中央値	データ数
常位胎盤早期剥離		17分	3時間48分	55分	51分	53
早産期の胎児機能不全		20分	2時間2分	58分	57分	39
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		22分	1時間	39分	36分	5
その他・無記入		8分	2時間5分	58分	53分	24
総数		17分	3時間48分	55分	52分	121

8-1 分娩まで（要請から分娩まで）

- 搬送要請時刻と分娩時刻が分かっている124件中、搬送要請から24時間以内に分娩となったのは110件であった。
- 110件の分娩までの時間の平均は2時間48分、中央値は2時間2分であった。
- 110件の分娩までの時間の最小値は33分、最大値は19時間39分であった。

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間

要請理由	要請から分娩までの時間					(再) 24時間以上	不明	データ数
	1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間～6時間未満	6時間以上			
常位胎盤早期剥離	8	21	5	18	4	3	8	64
早産期の胎児機能不全	1	1	2	24	11	9	15	54
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		2	2				1	5
正期産の胎児機能不全	1	4		3				8
その他(1)・無記入	2	1	4	6	4	2	1	18
合計	12	29	13	51	19	14	25	149

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値・中央値

要請時の疾患名	分娩までの時間	最小値	最大値	平均値	中央値	データ数
常位胎盤早期剥離		41分	242時間26分	8時間7分	1時間28分	56
早産期の胎児機能不全		56分	313時間44分	40時間36分	3時間37分	39
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1時間26分	1時間57分	1時間36分	1時間31分	4
その他・無記入		33分	117時間57分	8時間24分	2時間1分	25
総数		33分	313時間44分	18時間11分	2時間17分	124

○ 要請理由別 搬送要請から24時間以内に武弁となった事例  
要請から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値・中央値

要請理由	分娩までの時間	最小値	最大値	平均値	中央値	データ数
常位胎盤早期剥離		41分	10時間57分	1時間59分	1時間26分	53
早産期の胎児機能不全		56分	19時間39分	4時間7分	3時間16分	30
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1時間26分	1時間57分	1時間36分	1時間31分	4
その他・無記入		33分	6時間45分	2時間28分	1時間56分	23
総数		33分	19時間39分	2時間39分	2時間2分	110

## 8-2 分娩まで（病着から分娩まで）

病着後の診断名	病着から分娩までの時間						データ数
	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	不明	
常位胎盤早期剥離	22	16	7		11	9	65
胎児機能不全	5	8	4	3	28	14	62
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全	1	2		1	1	1	6
その他・無記入	1	1		1	7	6	16
合計	29	27	11	5	47	30	149

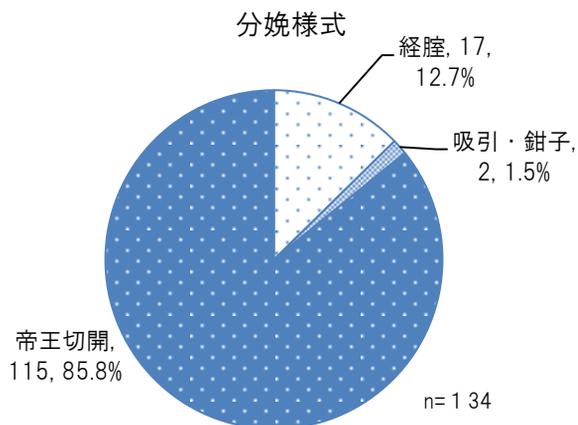
○ 病着後の診断名別 病着から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値・中央値

病着後の診断名	分娩までの時間	最小値	最大値	平均値	中央値	データ数
常位胎盤早期剥離		9分	242時間6分	7時間17分	44分	56
胎児機能不全		4分	312時間19分	30時間59分	2時間13分	48
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全		27分	3時間25分	1時間22分	51分	5
その他・無記入		23分	128時間4分	26時間28分	3時間9分	10
総数		4分	312時間19分	18時間7分	1時間2分	119

## 9 分娩様式

- 分娩様式は86%が帝王切開であった。
- 経膣分娩のうち、死産が5件（内1件は子宮内胎児死亡）であった。

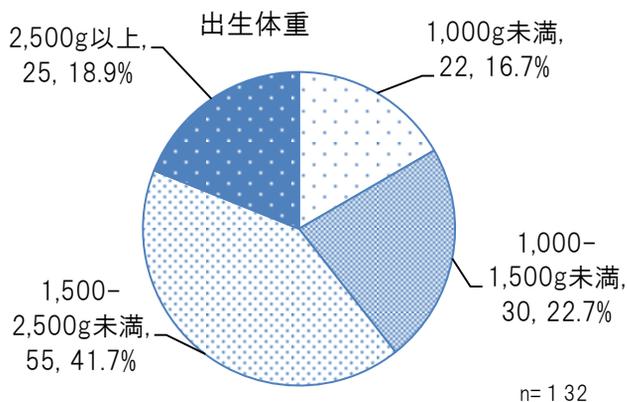
分娩様式	件数
経膣	17
吸引・鉗子	2
帝王切開	115
-妊娠継続	14
-母転院	1



## 10 出生体重

- 出生体重は458gから3,370gに分布していた。
- 出生体重の平均は1,848.6gで、中央値は1,753gであった。

出生体重	値
最小	458
最大	3,370
平均	1,848.60
中央値	1,753



# 11 アプガースコア

- アプガースコアの判明している132人のうち、1分後4点未満は42人（31.8%）、4～6点は28人（21.2%）であった。
- 5分後のアプガースコアが0～3点は14人（10.6%）であった。

	AP1分後	AP5分後
0～3点	42	14
4～6点	28	22
7点以上	62	94
挿管	1	1
死産	1	2
妊娠継続	14	14
母転院	1	1
不明	0	1

全体	AP5分後										死産	挿管	母転院	妊娠継続	不明	合計	
AP1分後	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
0	7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1					10
1		2	1	2	2	5	1		1								14
2						2	4	2	2								10
3							4	2		2							8
4						1	1	4	1	5							12
5						1		2	2	2						1	8
6							1	3	2	2							8
7									6	4							10
8								1	3	34	1						39
9										7	6						13
10																	0
死産												1					1
挿管													1				1
母転院														1			1
妊娠継続															14		14
合計	7	3	1	3	2	9	11	14	17	56	7	2	1	1	14	1	149

## ○ 要請理由別 アプガースコア

要請理由	AP1分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		17	8	34		5	64
早産期の胎児機能不全		16	14	14	2	8	54
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		3			1	1	5
その他・無記入		6	6	14			26
総数		42	28	62	3	14	149

要請理由	AP5分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		5	6	48		5	64
早産期の胎児機能不全		6	9	27	4	8	54
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	2		1	1	5
その他・無記入		2	5	19			26
総数		14	22	94	5	14	149

## 12 臍帯動脈血pH

- 臍帯動脈血 pHが不明の児及びIUFDの児を除いた出生児116人の臍帯動脈血 pHは、6.594から7.520に分布していた。
- 平均は7.229、中央値は7.289であった。

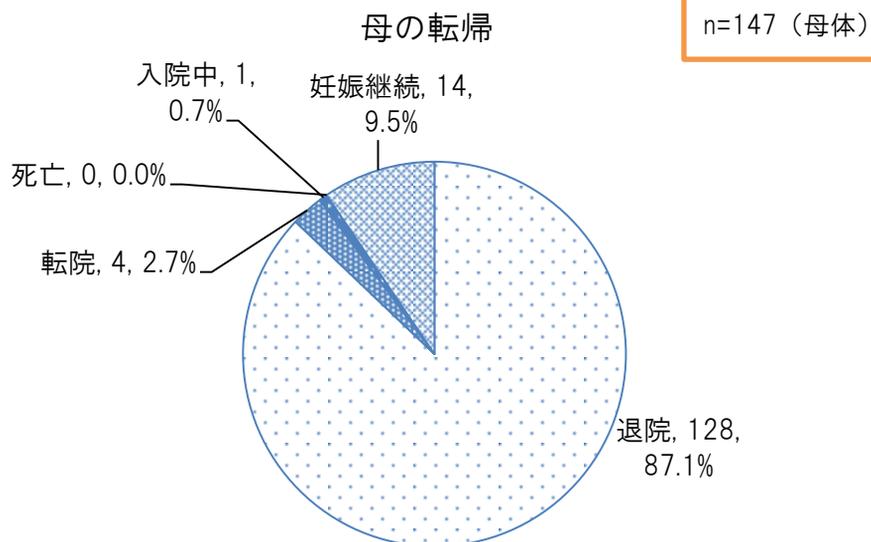
臍帯動脈血PH	
最小	6.594
最大	7.520
平均	7.229
中央値	7.289
7.00未満	15
7.00～7.15未満	11
7.15～7.39未満	81
7.39以上	9
死産	7
妊娠継続	14
母転院	1
不明	11

### ○ 要請理由別 臍帯血 pH

要請理由	臍帯血pH	7.00未満	7.00～7.15未満	7.15～7.39未満	7.39以上	不明	死産	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		13	3	35	4	3	1	5	64
早産期の胎児機能不全			5	29	3	4	5	8	54
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	1	2				1	5
その他・無記入		1	2	15	3	4	1		26
総数		15	11	81	10	11	7	14	149

## 13 母の転帰

- 母の転帰は87%が退院であり、死亡したものはいなかった。



## 14 児の転帰

- 児の転帰は退院が112人（75.2%）、転院が5人（3.4%）であった。
- 死亡した12人は、死産が7人、その他5人であった。

